

(別紙3)

文起第815号 - 1  
令和2年9月1日

(施設名) 米子市美術館  
(指定管理者) 一般財団法人米子市文化財団  
(代表者名) 杉原 弘一郎 様

米子市長 伊木 隆司

### 令和元年度「米子市美術館」指定管理者業務評価書

施設名	米子市美術館
施設所管課	経済部文化観光局 文化振興課
指定管理者名	一般財団法人米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 令和3年3月31日(9年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

特別共催展Ⅱ「チームラボ 学ぶ!未来の遊園地」は5万人を超える観覧者(美術館最高入場者数)を記録。その多くは親子連れで、県外からも沢山の人が押し寄せた。また、特別共催展Ⅰ「北原照久コレクション(同時開催:安部朱美創作人形展)」では、戦前戦後の郷愁を誘うレトログッズを中心に展示、併せて「昭和の子ども」をテーマに作られた創作人形も展示、幅広い年齢層が楽しむことのできる観覧機会を提供した。市展をはじめとするその他の展覧会事業も円滑に行われたことは評価できる。また、収蔵品の管理も適切に行われ、全体として協定書及び事業計画書の基準を遵守し、その水準に沿う管理が実施されていた。

##### 【第三者評価】

##### ① 施設について

- ・丁寧な施設の維持管理がなされ、企画事業や貸館でもスムーズです。(同意見多数)
- ・清掃も行き届いていて、美術館内外とも綺麗です。
- ・ソフト面はスタッフのおかげで工夫されていると思います。
- ・設置目的の達成に資することができる内容への取り組みが見られていると思います。
- ・非日常を経験できる空間であるべきだと思うので、ハード面の予算をつけてほしい。
- ・センスある美しい空間であってほしい。
- ・閉館時間の延長は利用者にとってたいへん有り難いです。

(裏面へ)

・快適に鑑賞できる改修が実施されている。

② 管理について

- ・常に適切に管理されていると感じています。
- ・少ない人員で、点検や清掃など多岐にわたり良く管理されています。(同意見多数)
- ・スタッフの方が皆さん丁寧で親切です。

③ 事業について

- ・創意工夫が見受けられた。(同意見多数)
- ・集客力の高い企画により利用者や利用率があがっていた。(同意見多数)
- ・話題性の高い事業、地域に馴染のある事業、体験型の事業等、利用促進の充実が図られていて業務内容の向上が見られる。
- ・チームラボ展は、普段は美術館に足を運ばない層にアピールする事業で、開催力は本当に素晴らしいと思います。
- ・ヒカリマチアートプロジェクトとの連携もよかったと思います。
- ・チームラボ展の期間中は、街中に若い人達がたくさん歩いていたのもよかった。
- ・認知度の高い北原照久氏のコレクション展と併せて開催された地元作家の展示は、地元作家の作品を、より多くの人に知ってもらえる機会となりよかった。
- ・事業費が前年度と比較し、かなり圧縮されている点は高く評価できる。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・観覧者ニーズを捉えながら事業を企画し、観覧者数が増加することに期待したい。また、第三者評価も参考に更なる運営の向上と、施設の適切な管理を図っていただきたい。

【第三者評価】

- ・子どもが参加しやすい事業を企画し、観覧者増加に繋げてほしい。(同意見多数)
- ・校外学習などを利用し、学校活動の中での鑑賞連携を企画検討してほしい。
- ・小・中・高生を対象に美術館をどんどん活用してほしい。
- ・新型コロナウイルス等の環境下で、美術館職員や入館者等の健康面に如何に配慮するかを推進検討して対策をとってほしい。(同意見多数)
- ・利用者のニーズに応える美術館を目指してほしい。
- ・単なる展示ではなく、ワクワクする空気感がほしい。
- ・他の団体との共催で、美術館前庭や創作広場などを活用した企画を考えてみては。
- ・広報について、今後、SNSの活用を検討してほしい。
- ・キャッシュレス対応の整備を検討してほしい。
- ・限られた事業予算の中で、集客できる事業が求められる。
- ・収蔵庫の拡張を検討してほしい。

## 令和元年度下期「米子市美術館」モニタリング評価表〔令和2年8月〕

施設名	米子市美術館	
施設所管課	経済部文化観光局文化振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人 米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地
指定期間	平成23年4月1日～令和3年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に資するため。	
主な実施事業	郷土にゆかりのある優れた作家の美術作品等及び近代以降の版画作品等収集、保管、研究及び展示。 市展、県展、特別企画展（年間1回）、特別共催展（年間2回）、常設展、共同企画展、ミュージアムスクール（教育普及事業・年間3回）等	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認（60点）</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	協定書に定められた、人員を配備し、管理体制も明確であった。また、マニュアル等も作成し、安全対策、危機管理体制、態勢を整え利用者、使用者の安全確保に努めているため。資料等確認、立入検査
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	指定申請書に基づき、計画的に研修を受講している。資料等確認
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	北原・安部展では昭和期を中心としたテーマで展示。歴史館との連携も展開した。チームラボ展では、美術館初のデジタルアートを駆使した参加体験型のイベント展を開催。親子で楽しめる企画を演出。さらに小灘展では、改組新第4回日展で最高賞受賞作品を展示するなど、貴重な機会を提供した。資料等確認
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	A	チームラボ展が過去最高の入場者数を記録。10万人を超える年度入場者数となった。昨年度入場者数に比べても3万人以上、

			増加した。 台帳確認 補足資料 1
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	サポーター制度、委員会、アンケートの実施等により要望把握に努め、適切に実現策をおこなっている。 立入検査、資料等確認
<b>3 保守点検並びに清掃等の業務</b>			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき、適切に行われた。第三者による点検業務は電気設備、エレベーター、空調、自動制御設備機及び消防用設備機器の最小限度であった。 台帳確認、立入調査
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	協定書及び覚書に基づき、適切に実施した。敷地内の除草作業を行っており、館内では床面清掃を適宜実施し美化に努めている。 台帳確認
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 台帳確認、立入調査
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	展示室で使用のピクチャーハンガーの修繕やその他備品の簡易修繕を適切に行ったため。 台帳確認、立入調査
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	自主事業計画書に沿って適切に実施された。 資料確認
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	情報公開の実施体制、管理体制を整備し、個人情報保護方針を作成し個人情報を慎重に取り扱っている。 資料確認、立入調査
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	施設の現状を正確に把握した上で今後の事業を計画しているため。資料確認
<b>II サービスの質の評価 (25点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	指定申請書に記載された提案は実施されている。各展覧会やミュージアムスクール等で利用者アンケートを実施し、回答は概ね利用者を満足させている内容であった。

			資料等確認、立入調査
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	協定書に基づき業務を適切に実施している。 立入調査
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	指定申請書に基づき、サービス水準向上策を策定し実施し創意工夫のある内容であった。また、利用者への接遇、対応は適切であった。 資料等確認、立入調査
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設定目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	B	ミュージアムスクールとして学芸員レクチャーを行うなど美術への興味を引くものであった。 資料等確認
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	出前講座等の様々なサービスを提案、実施し、芸術鑑賞の機会を提供するだけでなく、市の事業にも参加協力し美術に対する市民の教養等の向上にも取り組み、常に新しい試みを発案実施している。 資料等確認

### Ⅲ サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	事業収支は適切な水準であった。 補足資料2
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	経営状況分析指標は適切であった。 補足資料3
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であった。

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>特別共催展「北原・安部展」、「チームラボ展」、特別企画展「小灘展」を開催したほか、共同企画展「秋山展」などを実施。いずれの展覧会事業も円滑に行われ、教育普及事業もミュージアムスクール、ワークショップなどの様々な展覧会関連事業を行っている。新しい分野のデジタルアートなどを取り入れ事業内容も工夫されており、円滑に管理運営を行っている。</p>	<p>合計点 (66) 点 / (100) 点 × 100 = (66) 平均点 (3.3) 点</p>
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔平成31年4 ~令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ~平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
開館日数(注1)	320(246)	314(242)	6	101.91(%)	
施設利用者数	108,916	66,449	42,467	163.90(%)	観覧者の増加による
施設稼働率(注2)	76.8%	77.1%	-0.3	99.61(%)	
事業開催数	12	14	-2	85.71(%)	

(注1) ()の数字は展示日数

(注2) 施設稼働率 展示日数/開館日数 により算出

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔平成31年4 ~令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ~平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
指定管理料	52,560,000	51,912,000	648,000	101.24(%)	
使用料収入	2,668,349	3,354,102	-685,753	79.55(%)	貸出件数の差による
事業収入	4,616,225	7,264,307	-2,648,082	63.54(%)	事業形態による
補助金等	0	0	0		
雑収入	434,949	488,150	-53,201	89.10(%)	
負担金	0	0	0		
合計	60,279,523	63,018,559	-2,739,036	95.65(%)	

(2) 支出

項目	本年度〔平成31年4 ~令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ~平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場 合は増減理由を記載
人件費	26,654,330	29,566,351	-2,912,021	90.15(%)	
施設管理費	17,497,853	17,538,505	-40,652	99.76(%)	
事業費	9,294,548	27,936,616	-18,642,068	33.27(%)	開催事業数の差による
委託費	4,473,366	5,442,174	-968,808	82.19(%)	
事務局経費	4,025,000	4,208,454	-183,454	95.64(%)	
合計	61,945,097	84,692,100	-22,747,003	73.14(%)	事業費の差による

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成31年4~ 令和2年3月〕A	前年度〔平成30年4 ~平成31年3月〕B	対比 A-B、A/B		備 考
① 事業収支	-1,665,574	-21,673,541	20,007,967		
② 利用料金比率	4.4%	5.3%	-0.9	83.01(%)	
③ 人件費比率	43.0%	34.9%	8.1	123.20(%)	
④ 外部委託費比率	7.2%	6.4%	0.8	112.50(%)	
⑤ 利用者当たり管 理コスト	568.7	1274.5	-705.8	44.62(%)	

⑥利用者当たり自治体負担コスト	482.5	781.2	-298.7	61.76 (%)	
-----------------	-------	-------	--------	-----------	--

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎているか、逆に費用がかかりすぎているかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況 (年度毎下期に実施し、上期では行いません。)

項目	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	備考
①自己資本比率	57.7%	51.0%	55.1%	44.9%	62.8%	
②流動比率	304.5%	238.4%	281.4%	191.7%	323.6%	
③固定長期適合率	15.3%	15.9%	15.6%	11.2%	11.0%	
④総資産経常利益率	-6.5%	7.6%	2.3%	4.4%	-0.5%	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産(資産合計)に占める自己資本(純資産合計)の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金(負債合計)に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産(すぐに準備できるお金)の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本(純資産合計)と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本(純資産合計)と長期で調達したお金(固定負債)でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

④総資産経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資本} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

#### ■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
資産合計 2,000	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
	負債純資産合計 2,000

#### ■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

#### 5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

#### 6 利用者アンケートの結果

特別共催展「北原照久コレクション 懐かしくて温かいおもちゃの世界展 / 同時開催：安部朱美創作人形展」

- ブリキやセルロイドのおもちゃがすごくなつかしく、こんなにきれいに保存されていて嬉しかったです。（70代女性、境港市）
  - 人形展はこの年になるまで興味がありませんでしたが、こんなに親しみが持てる人形があるなんて。いくつになっても新しい発見はあるものです。百歳まで生きようと意欲が湧きました。（80代男性、米子市）
  - 写真が撮れるのがとてもよかったです。（20代女性、米子市）
- 第59回米子市美術展覧会（市展）
- 毎年見に来ています。高校生の作品を見るのが楽しみです。（70代女性、松江市）
  - 全ジャンルで、それぞれの方が精魂込めて作られた作品を見て、心が安らぎました。これからも長く市展を続けてください。（70代男性、米子市）

特別共催展「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」



- 「お絵かき水族館」は一緒にできてとても楽しかった。孫が「一緒にしよう」と言ってくれて、とてもいい思い出ができた。  
(60代男性、安来市)
- すべての作品が参加型だったので楽しめました。(40代女性、神戸市)
- 展覧会に来るまでのイメージはただきれいなものというぼんやりしたものでしたが、実際体験してみると、子どもたちの自由な発想力で自分たちでアートを作り出しており、とてもよい体験教育だと思いました。(10代女性、境港市)
- 常設(コレクション)展「風景 風と光のあるところ」
- ギャラリートークを聞きながら鑑賞でき良かったです。(40代女性、米子市)
- 田崎廣助の《朝焼けの大山》、じっくり見ていたかったのですが、ガラスに反射している向かい側の作品が邪魔で残念。  
(70代男性、筑紫野市)
- 共同企画展「秋山さやか展 米子をほどく 2009-2019」
- 米子に住んでいて気づかなかった魅力などをたくさん知れた。(10代女性、米子市)
- 未来を担う子供たちに、何をのこしたらよいか、この町をどうしていったらよいか、ちょっといろいろ考えさせられました。  
(40代女性、米子市)
- 特別企画展「神々の微笑・小灘一紀 絵画のあゆみ」
- 物の質感や影・光の表現がリアルで、本物がそこにあるかのような感じでした。《伊弉那岐命と伊弉那美命の神生み》がとても気に入ってしばらく眺めていました。(10代女性、境港市)
- 一人の洋画家の全貌をよく表現できた素晴らしい展示だと思いました。研ぎあげられたデッサン力と構成力の多彩さと力量を遺憾なく堪能させていただきました。(60代女性、千葉県)